

Cell Symposia Multifaceted Mitochondriaに参加して

目で見ると
海外論文発表

英山 明慶*

Report from Cell Symposia Multifaceted Mitochondria

Key Words : Mitochondria, Mitophagy, Yeast

<参加会議名>

Cell Symposia Multifaceted Mitochondria

<開催場所>アメリカ・シカゴ

<渡航期間>2015年7月19日~7月21日

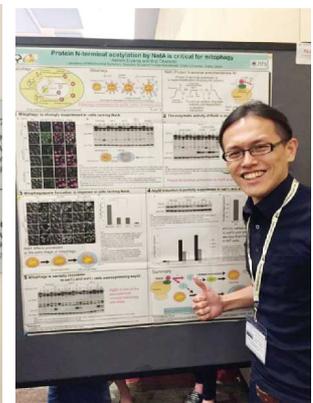
<発表タイトル>Protein N-terminal acetylation by NatA is critical for mitophagy

Cell symposiaは科学雑誌「Cell」を発行するCell pressが主催する国際学術会議です。研究分野別で開催され、私はミトコンドリアをテーマとした今回の会議に参加してきました。ミトコンドリアは細胞小器官の一つであり、代表的な機能として生体エネルギーの供給が挙げられますが、その他にも細胞の多様な機能に関与しています。よって、ミトコンドリアと一口に言っても、その研究は多岐にわたります。私は現在、ミトコンドリアの分解制御について研究を展開していますが、今回の会議はミトコンドリア研究全般を取り扱った会議であったため、普段聞けないような様々な研究の話を知ることができました。これは私の知識や視野を広げる絶好の機会となりました。また、私はこの会議でポスター発表を行いました。海外で開かれる国際会議への参加は初めてであり、この経験もこれから研究者として大いに成長していくための大変貴重な経験となりました。研究発表をした際には、多くの方々に私の研究

を聞いて頂き、加えて私がこれまで思いもつかないような角度からの質問や実験の提案をして頂きました。これは自身の研究を更に発展させることへと繋がると感じます。また、初めて海外で研究発表をしたことで、研究の世界基準に触れることができ、その中で私の能力で通用した部分、通用しなかった部分がわかりました。これにより、私の研究における改善点というのが具体的に見えてきました。今後はこの経験を糧に日々研究に励み精進し、自身の更なる成長へと繋げていく所存です。



会場受付にて



筆者とポスター



熱気あふれるポスター会場



口頭発表が行われたメイン会場



*Akinori EIYAMA

1987年10月生
大阪大学大学院 生命機能研究科 博士
前期課程修了(2014年)
現在、大阪大学大学院 生命機能研究科
(博士後期課程2年) 岡本研究室
日本学術振興会特別研究員 (DC1)
理学修士 分子細胞生物学
TEL: 06-6879-7970
FAX: 06-6879-7970
E-mail: eiyama@fbs.osaka-u.ac.jp